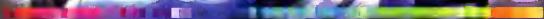




G:BEAST VERSUS



G:BEAST

VERSUS

二次創作『G:BEAST』は1997年に放送された架空の番組として構築されています。

僕たちはこれを仮に『ノスタルジックフィクション』と呼ぶことにしました。

このノスタルジックフィクション(以下NF)をなぜ1997年に展開していく必要があるのか？

理由は、意味を持った一つの分岐点になりえる時代だったからです。

僕たちロボットアニメファンにとって90年代後半は、ガンダムや勇者シリーズの新作が毎年作られる黄金の時代を迎えていました。

永遠に続くと思われたこの時代は…ガンダムは×で、勇者はガオガイガーで…一度幕は降ろされます。

シリーズ終了にはいくつもの複合的な理由があると思われますが僕達はこの定義する事にしました。

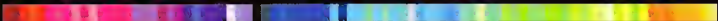
『玩具売上と視聴率の低迷』

これを事実と仮に設定し、もしも一年この夢のような時間を無事に迎える事ができたとしたら…

いつしか90年代後半に魂を焦がした僕たちはそんな妄想にふけるようになりました。

まずはじめにこのパラレルワールドを作る為の切り口を、当時噂されていたスポンサー企業の合併を切っ掛けに設定しました。

しばらくの間、馬鹿げた絵空事にお付き合いいただけたらと思います。



荒ぶる力を高貴なる魂が競べる時、

新世界への扉が開かれる……

【ロボットアニメ登場の経緯】

1960年代前半頃までの「サーキット」アニメーション業界では「ロボットアニメの登場」とも考えられなかった。それ以前、商業業界でも数回キャラクターデザインが呼んで「市場」直撃の宣伝を取り戻している。配役の氏員門部氏に、式子デパートやスーパーマーケットなどの一級商社でも大きく取り込みの交渉され、各社各社に特許し、上物の各キャラクターと各キャラクター商品を開発するべく「新しい商品開発競争を繰り広げることとなる」

【アニメとCGの融合】

最初とも、各社各社との競争の激化と経営状況を悪化し、各社各社がアニメ制作に力を入れた。コンピュータグラフィックス 40Gである

技術の進歩により、コンピュータを駆使して制作される3DCGは、従来のアニメよりもリアルな表現が可能になっていった。

例えば、84年に発売された、次世代ゲーム機「プレイステーション」の登場も、その一環としており、各社各社のゲーム機に力を入れた。特に「プレイステーション」の登場で、各社各社のゲーム機を競合していた。

その結果、85年に発売された主力機「プレイステーション」を3DCGで制作された。

その結果、プレイステーションの登場も、その一環としており、各社各社のゲーム機に力を入れた。

各社のCG技術も進歩して、これまでに各社各社のゲーム機で、各社各社のゲーム機を競合していた。

各社のCG技術も進歩して、これまでに各社各社のゲーム機で、各社各社のゲーム機を競合していた。

という、各社各社の競争を繰り広げることとなる。

【各社のクリエイターを競合】

プレイステーションの登場も、その一環としており、各社各社のゲーム機に力を入れた。

各社のCG技術も進歩して、これまでに各社各社のゲーム機で、各社各社のゲーム機を競合していた。

各社のCG技術も進歩して、これまでに各社各社のゲーム機で、各社各社のゲーム機を競合していた。

各社のCG技術も進歩して、これまでに各社各社のゲーム機で、各社各社のゲーム機を競合していた。

各社のCG技術も進歩して、これまでに各社各社のゲーム機で、各社各社のゲーム機を競合していた。

各社のCG技術も進歩して、これまでに各社各社のゲーム機で、各社各社のゲーム機を競合していた。

各社のCG技術も進歩して、これまでに各社各社のゲーム機で、各社各社のゲーム機を競合していた。

各社のCG技術も進歩して、これまでに各社各社のゲーム機で、各社各社のゲーム機を競合していた。

各社のCG技術も進歩して、これまでに各社各社のゲーム機で、各社各社のゲーム機を競合していた。

各社のCG技術も進歩して、これまでに各社各社のゲーム機で、各社各社のゲーム機を競合していた。

各社のCG技術も進歩して、これまでに各社各社のゲーム機で、各社各社のゲーム機を競合していた。

各社のCG技術も進歩して、これまでに各社各社のゲーム機で、各社各社のゲーム機を競合していた。

～♫ ヒューマンプロローグ～

かつて人類はZと共に終わりの無い戦いを繰り返してきた。
その戦いが100年を超えた頃、1人の女が現れ言った。

「全てのZは我の下に」

当然誰一人として彼女の言葉には耳を貸さず、戦いは続くものと思われた。
たかま達は運った。

その言葉のままに彼女の命に従ったのだ。すべてのZがである。

彼女はZを従え平和を唱え、人々は彼女を中心に国を創った。
しかし戦乱の世が終わると、平和を愛する者達にZを託し彼女は姿を消したと言う。

これがイングリスシア王国の建国神話。

神話以来、王の居ない王国はZを託された貴族によって繁栄を続けていた。
人々は豊かな暮らしを享受し、平和な時を過ごしている。
だが、長く続いた貴族政治の影には腐敗の形が差し、それに不満を持つ者も現れ始めていた…

イングリスシア王立学園――

すべての国民は10歳を超えると貴族平民を問わず、20歳までこの学園の宿舎で生活する。
そしてこの学園では、この国の政治体制を象徴するかのようシステムがある。

決闘である。

貴族同士の争いは所有するZでの戦いをもって決する。
これは学園内の派閥争いに止まらず、ひいては貴族同士の勢力争いへと影響を与えるものであった。
貴族達は自らの所有するZの力を引き出すために、有能な平民をZ騎士として任命し、
Z騎士に任命された平民は、Zと共に己の将来をかけて決闘に臨むのである。

そして今日もまた決闘を催せる大聖堂の鐘が鳴り響く。



エレノア・レオンハート
通称獅子姫

3機のライカー系Z1を所有する中堅貴族レオンハート家の当主次女。
貴族の在り方に疑問を持ち、貴族として自分のするべきことを押し切っている。
学園では争いを避けて主席争いや序列に興味を示さない為、目立たない存在となっている。



イングラッド

白騎士ライカーゼロの操者、この物語の主人公。“自称”記憶喪失。
トラグニス家に拾われ育てられた孤児。一度はアデライザのZ1騎士となるが決闘に敗れ家を追われる。
なりゆきでエレノアのZ1騎士となった今でも、その過去を語っていない事に悩んでいる。
その為、記憶喪失を装いアデライザとは顔を合わせない様に立ち回っている。

illustration by 椎葉うりも



アデライザ＝ドラグニス

通称竜姫。

ゴジュラスを筆頭に電系Z1を多数保有する大貴族ドラグニス家の一人娘。生まれながらの勝者にして強者。大貴族のプライドが彼女に敗北を許さない。決闘において敗北したZ1騎士は、その日の内に駆逐されてしまうほど。



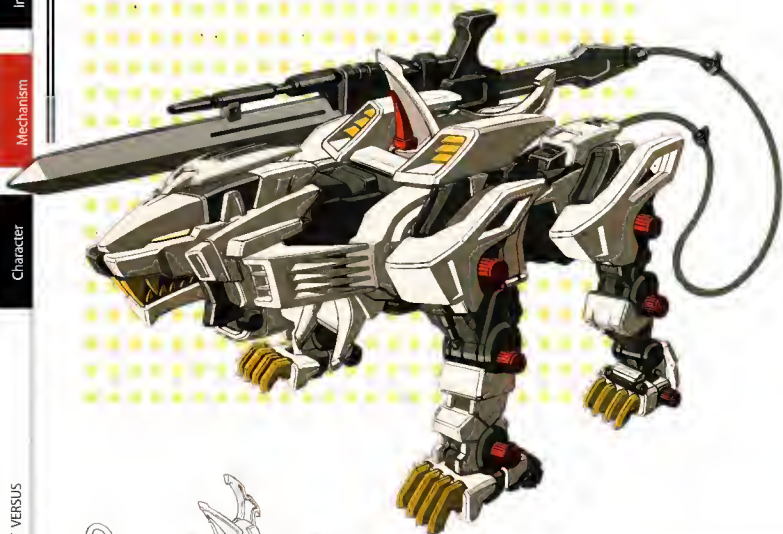
ショーン＝レオンハート

エレノアの従弟の離れた弟でありレオンハート家の長男である。

幼い頃から貴族の男としてZ1操縦の訓練を受けてきたが、その間柄は一人前とは言い難い。姉を護ると思気込んで、逆に姉に助けられている自分を不甲斐なく思っている。



illustration by 倉持キョーリユ



白騎士 ライガーゼロ

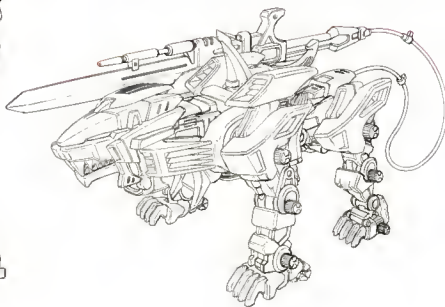
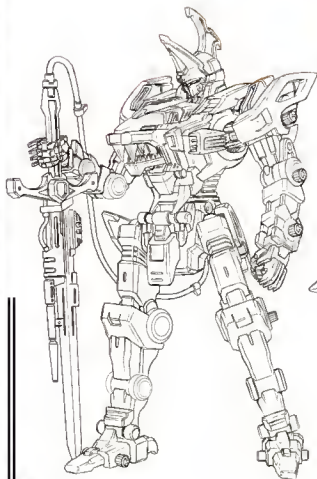
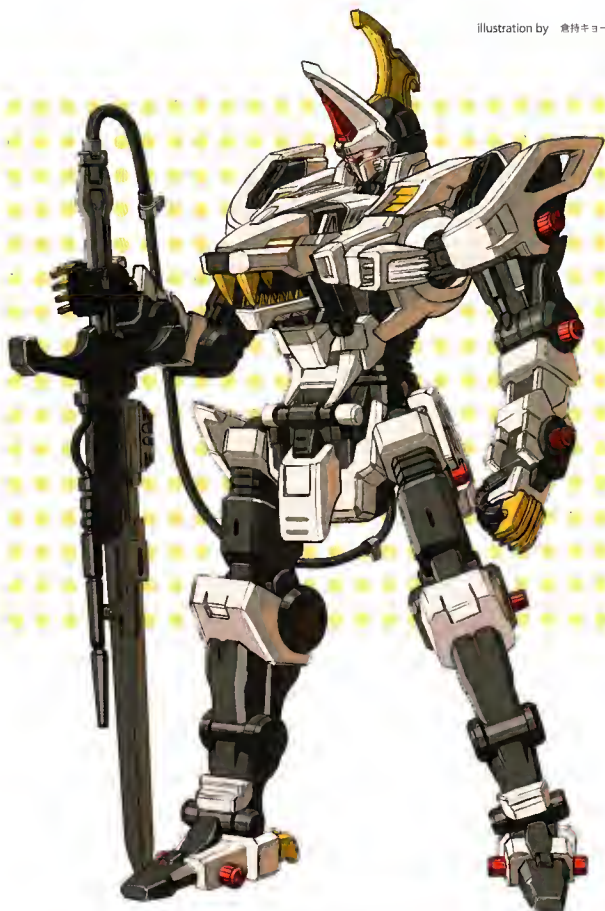


illustration by 倉持キョーリユ



白騎士 ライガーゼロ

建国以来レオンハート家の重鎮Z1として名馳するライオン型の機体である。

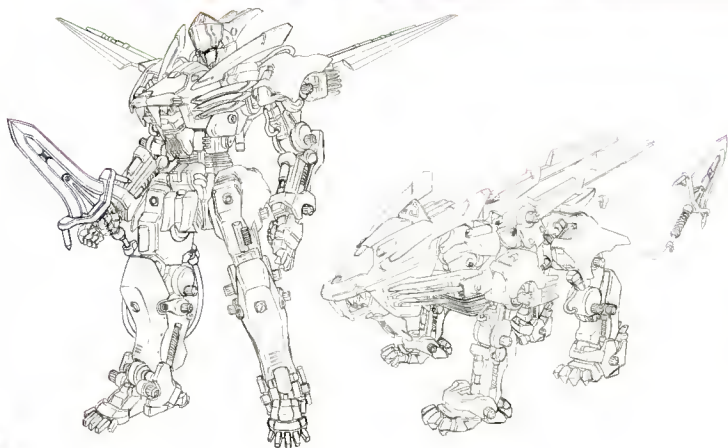
長い戦乱の時代に独自の進化を遂げ、4種類の用途の異なる鎧装（がいそう）を手に入れた。

その事から、現在でも「レオンハートの白獅子には4つの顔がある」と恐れられている。

illustration by 倉持キョーリユー



青騎士 ブレードライガー





青騎士 ブレードライガー

レオンハート家に伝わる3機のZ1の内の1機。

家訓により白騎士は当主専用とされる為、一族の者は決闘に青騎士を使用する。

現在ではエレノアの弟であるショーンがその機体を任されている。

XZM-EL01G



G ELEF

ジーエレフ

design by 倉持キョーリユウ

子供が乗る機体ということでしたので、重装甲で後方支援的な戦い方をし、「パイロットをとにかく守る」みたいなのを重視してデザインしました。

また、像の鼻は器用で覆えないイメージがあるので武装交換用アームとしてとめてみました。

"ELEPHANT" Type MOBILE SUIT



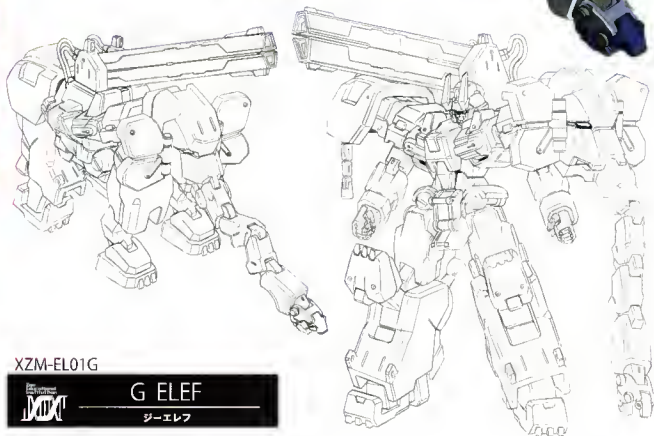
XZM-EL00G ジーマンモを解析し開発したものが XZM-EL01G ジーエレフである。

解析と言っても、EL00G の発掘場所に同型のジェネレータがあった為、それを元に再現（コピー）したと言った方が正しいだろう。

その為、機体の基本スペックは EL00G とほぼ同等である。

兵装：Auxiliary Loader Meghanada

EL00Gにあったヴィグネッシュタスクは装備されていないが、代わりに試作ビームランチャー『メーガナーダ』（雲の咆哮＝雷鳴の意）が装備されている。機体の大きさに見合った大型ジェネレーターが内蔵されているからこそ実現された装備であり、貫通力よりも破壊力を重視した武器となっている。こちらもオキシリアーローダーは装備されているが、格闘戦に使用されるよりはランチャーへの弾の装填に使われる事が多い。（意味的にはこちらが本来の使い方である）



XZM-EL01G



G ELEF

ジーエレフ

"ELEPHANT" Type MOBILE SUIT

XZM-EL00G



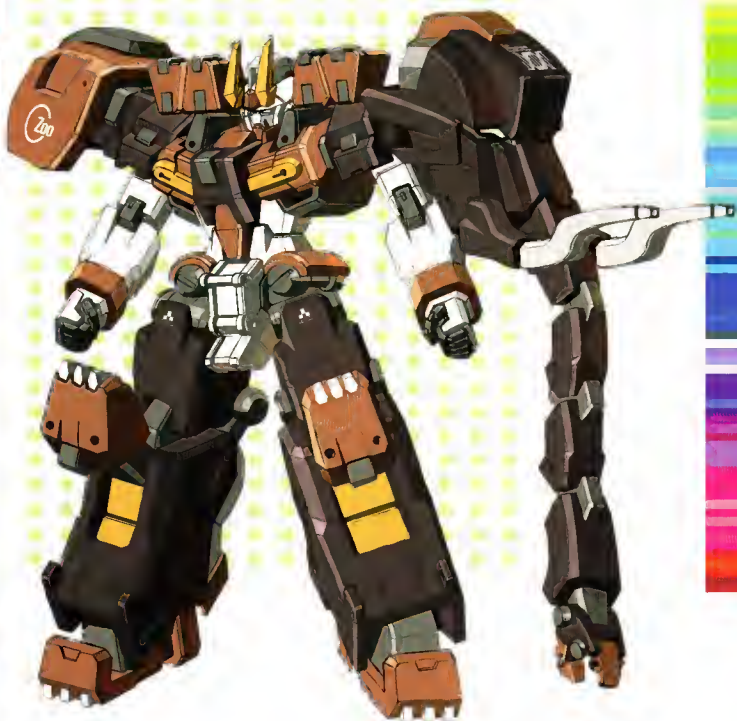
G MANMO

ジーマンモ

design by 倉持幸ヨリユー

ジーエルフとの兄弟機ということで、頭部と武器は採用デザインになっています。
像の穏やかなイメージのエルフとは対照的な、攻撃的で粗悪な腫つきとカラーリングでまとめてみました。

"MAMMOTH" Type MOBILE SUIT



リザースと同様に北極地下に永凍けになっていた機体。
ただし埋まっていた場所はリザースとは別の浅い層にあったとされ、時期もリザースが発掘されてから大分後の事である。
一応分類上は Ancient Mobile Animal (AMA) とされているが、他の AMA よりは解析が進んでいる。

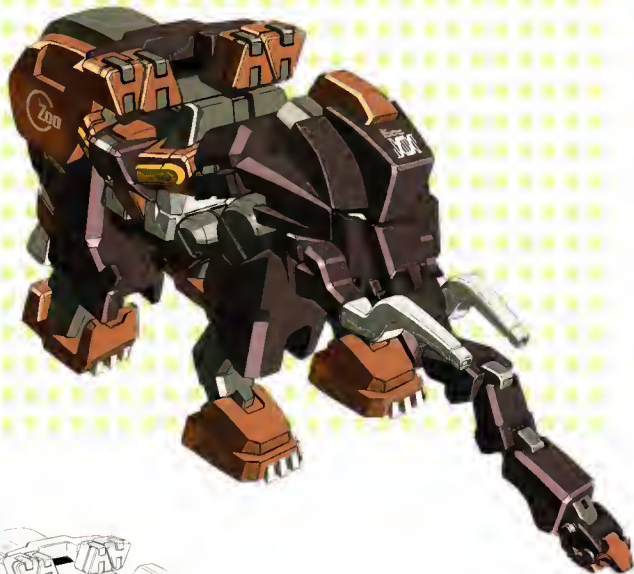
兵器：Auxiliary Loader Vignesh Tusk

武装としてはウィグネッシュタスクというビームトーチが装備されており、小さいながらも高い貫通力を持つ。

ビースト形態、MS形態共に使用が可能である。

象モード時に鼻にあたる部分（オキシリアリーローダー）はマニピレーターとしての使用の他、格闘戦時にも使われ、敵機を捕まえて放り投げるといった甚当も可能な程のパワーを持つ。

これら2つは発掘時にすでに装備されていたものであるが、追加武装として小型ミサイル・ランカーダーヒンが装備されている。



XZM-EL00G



G MANMO

ゾーマンモ

"MAMMOTH" Type MOBILE SUIT

XZM-UR02G



G GOTHIC

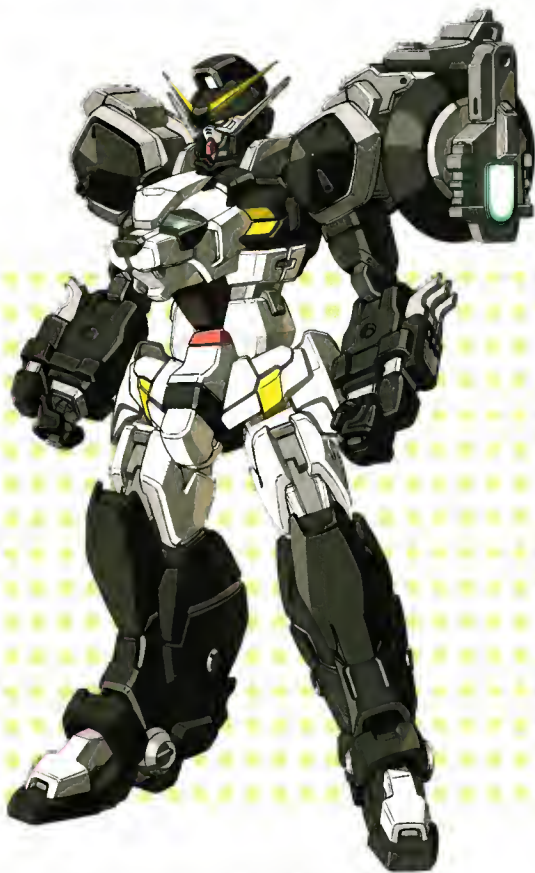
ジーゴシック

design by 倉持キョーリユウ

上野のパンダ人形にあやかり、パンダガンダムを提案してみたところ、石川プロデューサーが意外なことに興ってくれたので、楽しく描かせていただきました。

パンダの主食と言えばタイヤということで主武器はタイヤにしてみました。

"PANDA" Type MOBILE SUIT



XZM-UR02G ゴシックはURシリーズの2番目として832機間によって開発された。グリーズ、XXXI がそれぞれパワー、スピードを生かしたスタイルとなっているが、本機は運動性が重視されており、テクニカルな戦法を取るタイプであると言える。白兵用武装としてリューイェダオという青龍刀を装備し、力で叩き伏せるのではなく、相手の装甲の薄い部分や弱点と思われる部位を狙って攻撃する。

兵装：liuyedao Tapal

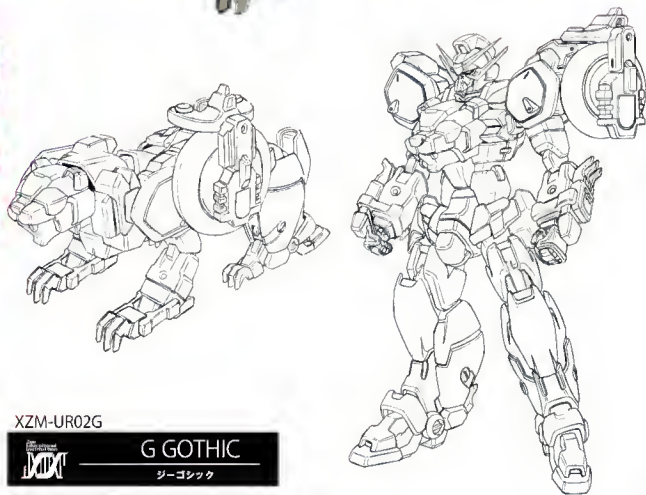
また、MS形態時の肩に装備されたターバイは普段は盾として使用しているが、

高速回転した状態で射出し、武器として使用する事もできる。

ターバイには他に、周囲に防御壁を形成する機能も内蔵されており、攻防一体の武器となっている。

これらの武装を扱い、「まるで演舞でも見ているか」のような戦いを見せる本機であるが、

それを制するテイマーのポテンシャルの高さ故の事であるのは言うまでもないであろう。



XZM-UR02G



G GOTHIC

ジーゴシック

"PANDA" Type MOBILE SUIT

XZM-UR03G



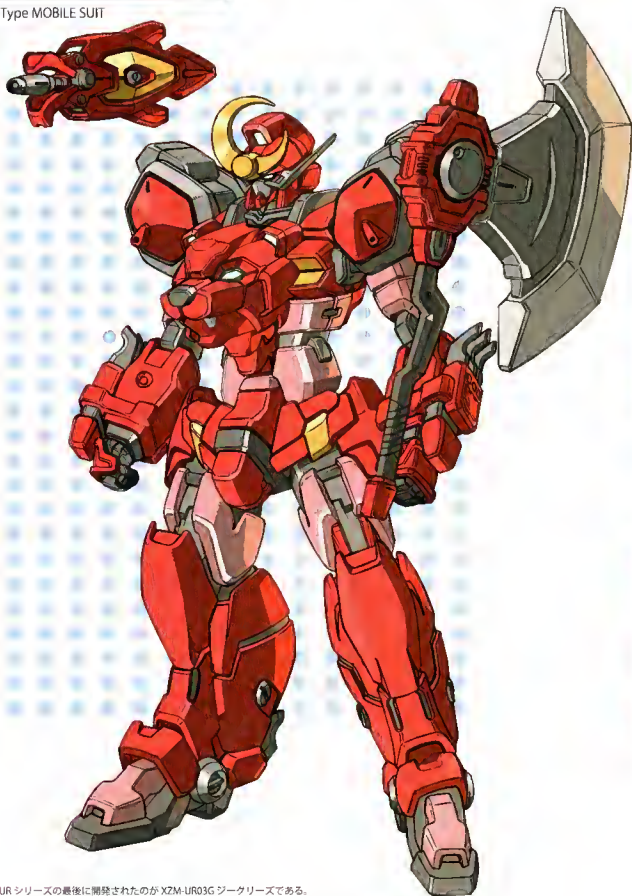
G GRIZZ

ジーグリズ

design by 倉持キョーリユウ

クマの好物と言えばシャケ！クマと言えば金太郎！ということでマサカリとシャケを装備させてみました。

"BEAR" Type MOBILE SUIT



URシリーズの最後に開発されたのがXZM-UR03G ジーグリズである。

他の2機のようにMS時は武器を使った近接戦闘に特化した機体として製作された。

ビースト形態では3機中最も装甲が厚くXZM-RIO1G サイガンダムのようにビースト形態で敵陣に突撃するといった戦闘スタイルをとっている。

MS形態では肩に装備された巨大な鎧、アブルフェーダを用いて戦う。

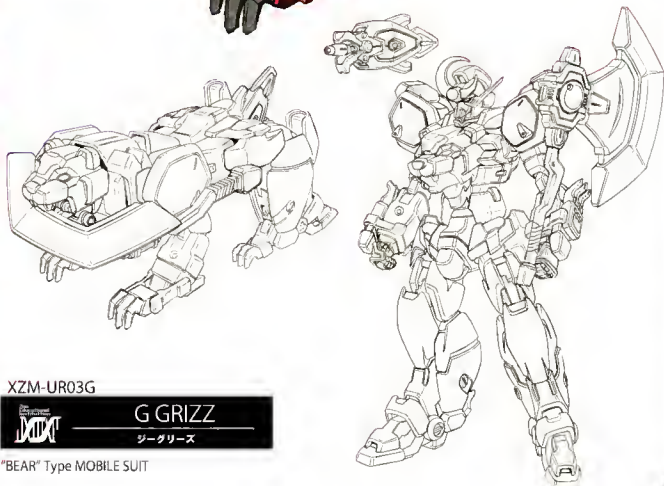
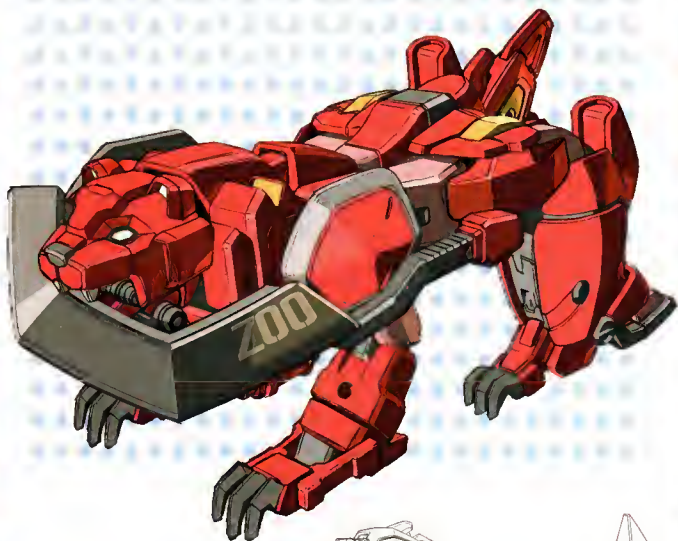
これにはXXM-HOS000Gのビーム技術が用いられている為、アーリー程度の装甲ならば一振りです断してしまいう威力を持っている。

兵装：SalmoSkinner Abulfeda



また、ビースト形態でも格闘戦を得意としており、前足での一撃はハンドレッド系にも勝るとも劣らない。
接近・格闘戦重視で開発された UR シリーズではあるが、全く火器が無いのも問題であるとして急速装備されたものが
サーモスキナーと呼ばれる補助兵装である。

タイマーの遠隔操作によって使用され、主にビースト形態時の突撃の際の補助として使用される事が多い。
一見地味な兵装ではあるが、後のモバイルパイプの雛形となった装備である。



XZM-UR03G



G GRIZZ

ジーグリース

"BEAR" Type MOBILE SUIT

XZM-UR01G

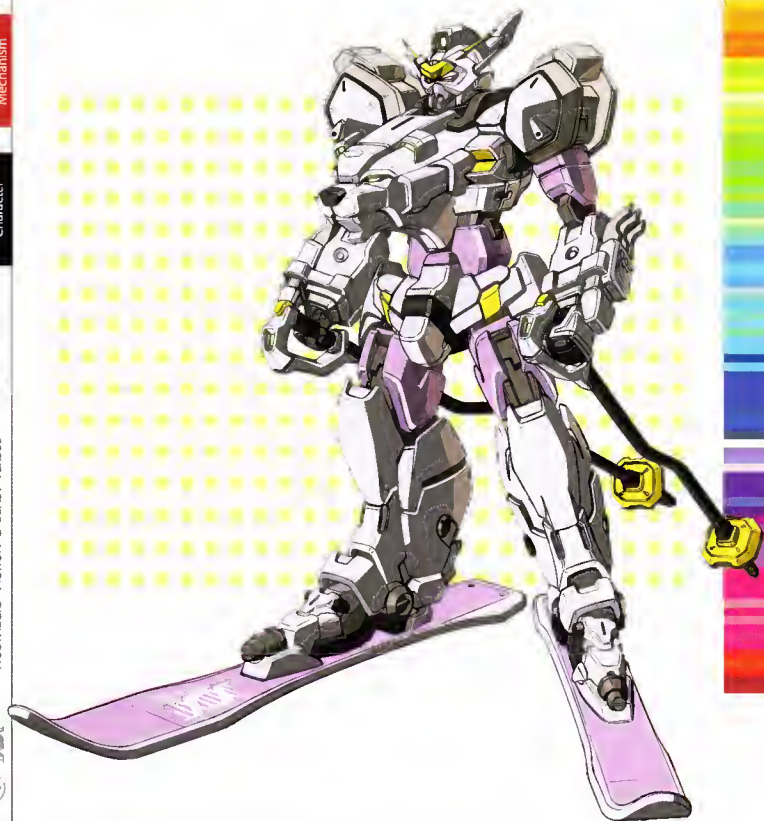


G XXX1

ジーサーティワン

design by 倉持キョーリユ

寒地仕様ということで何も考えずスキーさせてみました。

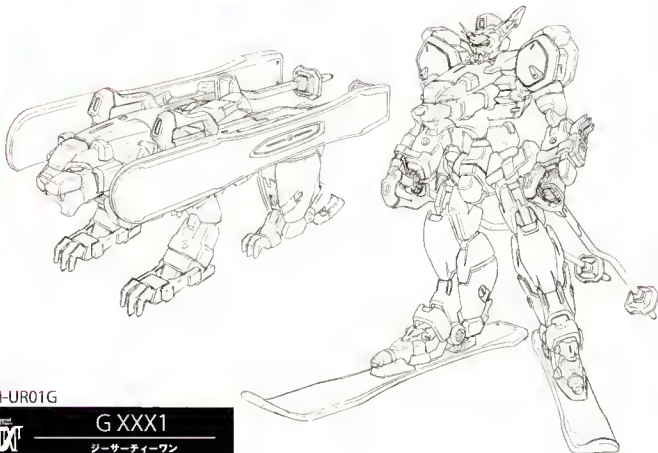
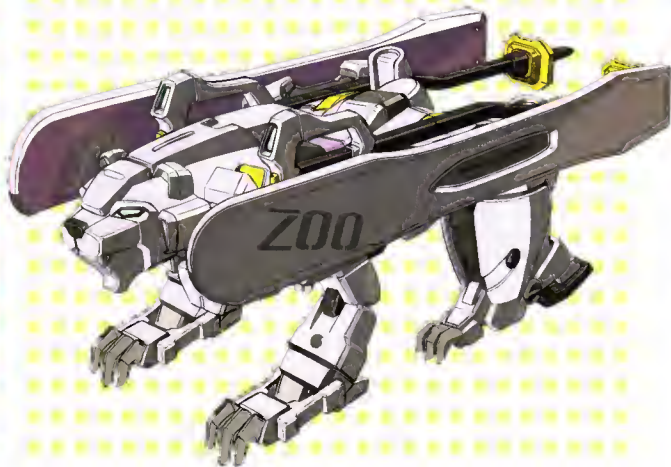


元は XZM-UR00G、ZOO の特殊開発部門・通称 832 機関によって熊型のプロトタイプとして開発された。
 その当時は極秘プロジェクト「XXX(トリプルエックス)」と呼ばれており、
 X はそれぞれ「パイロットの人工的なビースト因子強化」「そのパイロットに適合した機体側のジーンケージ」
 「XXM-HOS000G に搭載されていたブラックボックスの再現」から取られている。
 他の 2 体の完成後、寒地仕様として改修された為、XXX+1 でサーティワンと呼ばれるようになる。

兵装：Sikdar RushingPike

M S形態時、脚部に装備されるシクダールは XXM-HOS000G のベクトル偏向器の技術を解析して作られたものであり、雲上のみならず水上の移動にも使用される高機動ユニットである。

また、主な武器であるラッシングバイクは高速移動時に地表に突き立てる事により急な方向転換を可能にし、本機は中距離から接近しての白兵戦という戦法を最も得意としている。



XZM-UR01G

G XXX1

ジーサーティワン

"WHITE BEAR" Type MOBILE SUIT

MBW-AC01

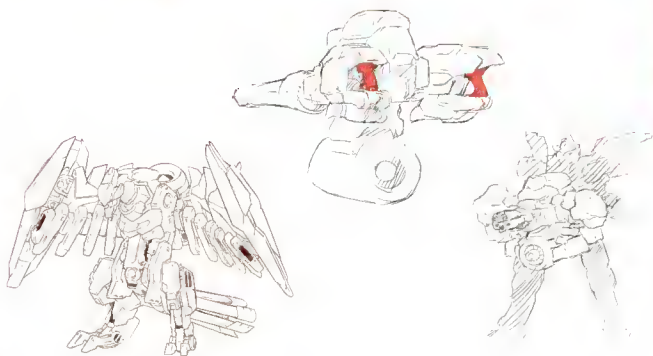
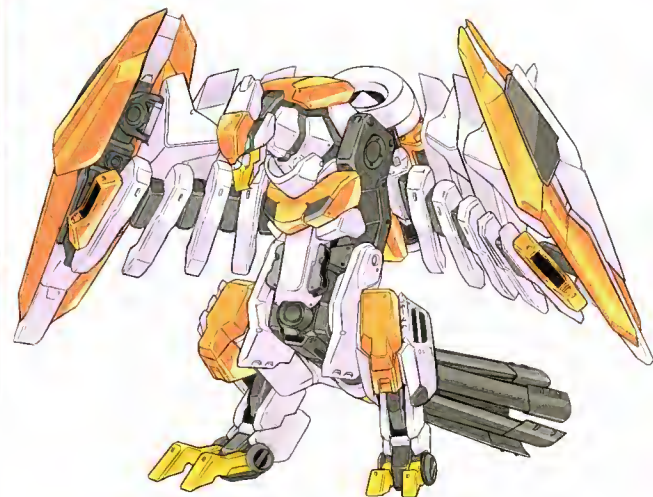


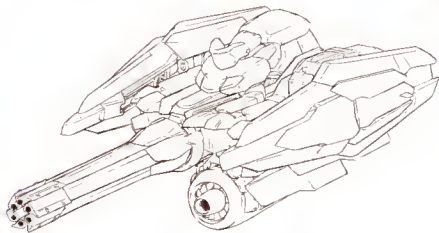
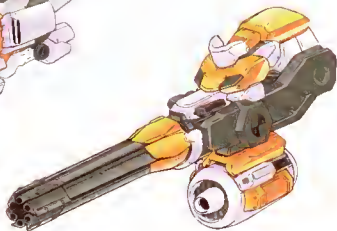
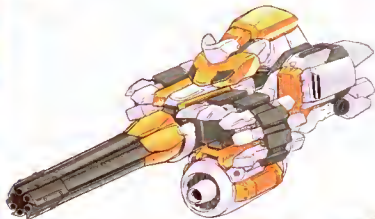
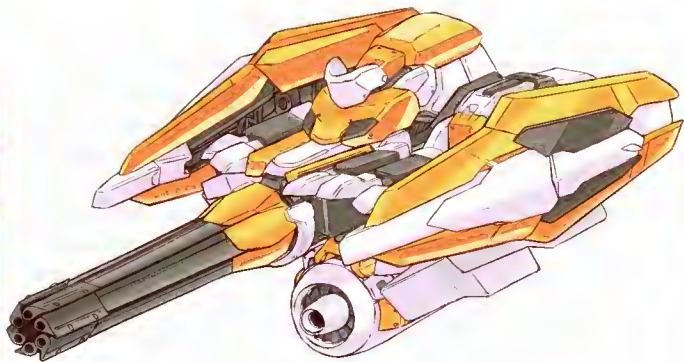
GATLING WAWK

ガトリングホーク

design by 砂漠の狸

装備させるとMSの機動力に影響を与えるので、可変して単独で稼働できるようにしたというコンセプトでデザインしたのに加え、部品点数もそこ多くなって立体化を前提とすると小さくするのは難しそうだったので、両手で持つくらいに大型にしてみました。





モビルバイクと言われる中型の無人兵器類の一つがガトリングホークである。

本来ティマーを必要とするモビルアニマルだが、S、エンハンサーと呼ばれる一種の生体回路を組み込む事により制御を可能とした。

主な役割は空中からの援護、援護であるが、アームズ形態に変形する事により、MSの武装として使用する事が可能。

現在はジーゴシックのチームが主に使用している。

MBW-AC01



GATLING WAWK

ガトリングホーク

"HAWK" Type MOBILE BAV

OM-FO01CW



WING EARLY

ウィングアーリー

design by 汐山このむ

アーリーにフライトバックを装着させた状態です。

“人型メカとして不自由で窮そうなデザイン”を崩さず、あくまで量産型ということで、スリムではなく厚みのあるフライトバックにしました。

“ANT” Type MOBILE SUIT



オーベンの主力量産 MS アーリーにフライトバックを装着し、空中戦用とした機体をウィングアーリーと呼ぶ。

フライトバックの他にも頭部センサー等に小規模な改修が行われている。

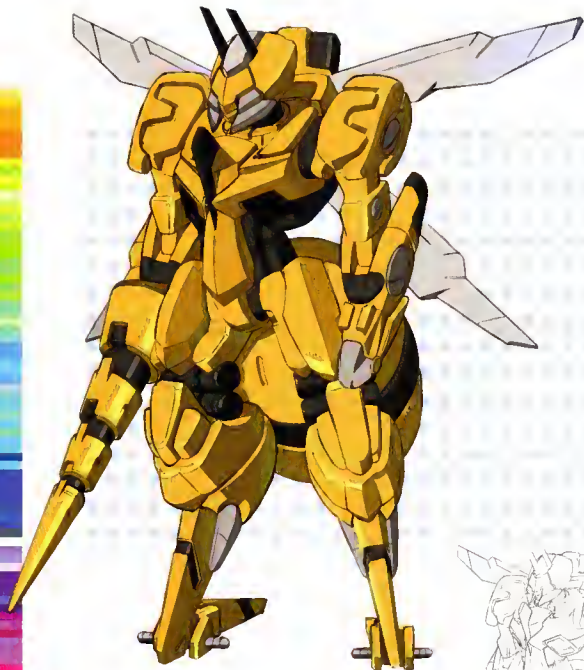
開発の背景には連邦軍の空戦タイプ MS、XM-FA03 T.O.M への対抗策として、が主な理由であるが、

元々陸戦用として開発された機体だった為、戦果は芳しくなかったようである。

その為、現場では次期空戦主力機の OM-VE01 バチが配備されるまでの一時凌ぎとしての運用とされていたようである。

兵装：Machine-gun





OM-F001CW ウィングアーリーを次いで空戦主力機として開発されたのが OM-VE01 バチである。

旧型での戦艦データを元にした空中での戦艦に特化されている為、各部がより洗練された形状になっているのが見て取れるであろう。

しかしながら基本的な部位はアーリーと共通になっている為、量産性は保ちつつも新機として配備が可能であり、オーベンの技術力の高さがうかがえる。

主な武装は機関砲を内蔵した E.L. ランスとなっている。

これは敵の装甲を貫くと同時に放電を行う武器であり、相手の電子機器にダメージを与え一時的な行動不能状態を起こす事ができるものである。

フライトバックの一体化と新武装により、新たな空戦主力機となったバチではあるが、空中での機動・攻撃を重視した為に装甲は従来機と同じ、またはそれ以下になってしまっている。

従来機に比べ、より熟練したパイロットでないと本来の能力を発揮できないのが欠点であると言える。

OM-VE01



BACHI

バチ

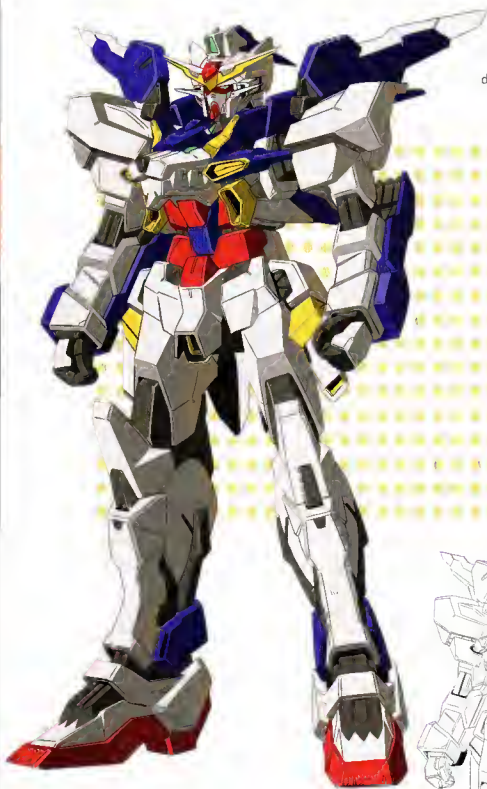
design by 汐山このむ

ウィングアーリー次いで、開発された機体ということで、アーリーの上位互換を意図してデザインしました。

部分的にアーリーと共通のVパーツを使って強化版アーリーっぽく描いてみました。

"BEE" Type MOBILE SUIT

design by アイザック等島



OVA版 G.BEAST用の設定画稿、よりダイナミックな動きをOVAならではのクオリティーで描く為に垂直水平のラインを排し、異構築をしたデザインになっている。



ぼくらの愛が過去を偽る

■企画

アトリエとびうお
石川プロ

■表紙

倉持キョーリユー（線画）
汐山このむ（カラーリング）

■裏表紙イラスト

汐山このむ

■ストーリー

Yura
おかやまかずひと

■設定考証

Yura
武藤和真

■ネーミング考証

武藤和真

■メカニックデザイン

倉持キョーリユー
URL : <http://ameblo.jp/dino-kuramo/>
twitter ID dino_kuramo
pixiv ID 33337

アイザック泰島

汐山このむ

URL : <http://ushionorobo.tumblr.com/>
twitter ID sekiyama_konomu
pixiv ID 246332

砂漠の狸

URL : <http://llcab.blog129.fc2.com/>
twitter ID lovecarburetor
pixiv ID 1684486

■キャラクターデザイン

椎茸うりも
pixiv ID 35809

～あとがき～

・どうも、デザイン画の塗りイラストやらさせていただきました、汐山です。
二週間筆って塗りました。倉持宅で塗りました。メロンも育てました！
強化含宿みたいで楽しかったです！今後のメロンの成長に期待してます！

■「NOSTALGIC FICTION G:8EAST Vol4」

■発行日 2011年8月14日

■発行元 「アトリエとびうお」/倉持図鑑

■URL : <http://ameblo.jp/dino-kuramo/>

■Email : kuramo@inter7.jp

■ご意見ご感想などありましたらお気軽にご連絡ください。

■禁・無断転写・コピー

